

館長挨拶

開館四十五周年を迎えて

(財)林原美術館館長

熊倉功夫

林原美術館は昭和三十九年(一九六四)に開館して以来、四十五年の歩みを続けてまいりました。そこで今

年は四十五周年記念として、例年より少しメリハリのある展示を試みることにいたしました。

林原美術館といえば、池田家伝来の名品、さらに故林原一郎氏による数々のコレクションがあります中で、今年は名品を揃えてまいります。また特別展も二回予定しました。

春は曙、というわけで江戸時代の花に寄せる絵ごころをもつて年度の皮切りといたします。続く陶磁は地域・時代をこえ、当館の名品を一挙に公開いたします。秋口にかけては、これも当館の所蔵品中で最も有名な作品の一つ『平家物語絵巻』を全巻陳列する予定です。もっとも絵巻は全長が九〇〇メートルを

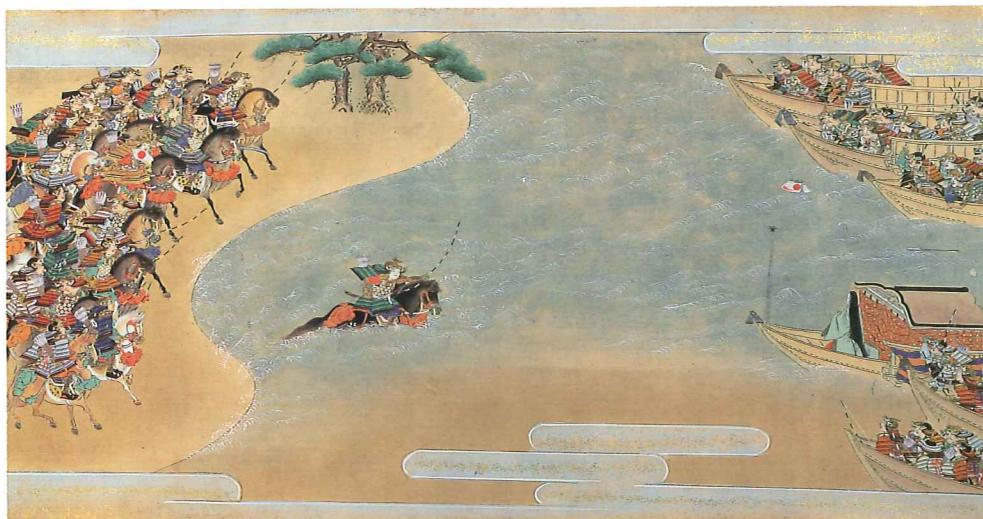
越えますので、量の多少はやむを得ぬとしても、三十六巻全巻を前・後期にわけて展示します。

秋の特別展は東京日本橋の三井記念美術館所蔵茶の湯名品展です。千利休とその周辺の道具は中国地方はじめての展観で、国宝志野茶碗卯花壇をじっくりと鑑賞していただきましょう。

今年は池田光政公生誕四百年にあたります。近年、池田家歴代の展覧会を連続開催しておりますが、今回は初代にかえり四百年を記念する特別企画展をいたします。

最後に特別展として復元玉虫厨子を出陳願いました。

法隆寺にある国宝玉虫厨子が今、あざやかに復元された姿を見る事ができます。今はことに盛りだくさんの企画です。皆様のご来場をお待ちしています。



平家物語絵巻 卷十一 上 「那須与一」



特別展

◆林原美術館開館45周年記念
「三井記念美術館 茶の湯の名品」

|利休の道具と国宝志野茶碗卯花墻|

10月4日(日)～11月15日(日)

侘び茶は桃山時代に千利休によって大成され、利休が所持した茶道具は侘び茶の精神を伝えるものとして、古くから大切に伝えられました。三井家は三井高利(一六二二～九四)によつて延宝元年(一六七三)に越後屋として創業して以来、江戸・大阪・京都の三都に店を持つ代表的豪商として栄え、主に表千家流の茶の湯をたしなみました。およそ三百年にわたる三井家と茶の湯との関りの中で、利休の道具をその核として多くの茶道具類を蒐集しました。本展覧会では三井記念美術館が所蔵する利休とその周辺の人々の茶道具を、国宝志野茶碗卯花墻と併せて展覧いたし、御覧いただきたく存じます。



国宝 志野茶碗 銘卯花墻



復元 玉虫厨子

◆林原美術館開館45周年記念
「平成の玉虫厨子と蒔絵」

平成22年2月7日(日)～3月28日(日)

本展は国宝玉虫厨子の復元作品と、玉虫を使った工芸品を紹介します。平成16年に、法隆寺の玉虫厨子を再現すべく、飛騨高山の匠たちが中心となつて「玉虫厨子復元プロジェクト」を立ち上げました。厨子の設計にまつわる古い文書などは残されておらず、制作は暗中模索の中、試行錯誤を繰り返し、貴重な玉虫を集め、ようやく厨子を現在によみがえらせることができました。平成の玉虫厨子は、人々の思いがつまり、見事な姿となつて私たちの前にあらわれます。さらに玉虫を用いてさまざまな工芸品も制作しました。玉虫の工芸作品は他に類のない、大変珍しいものと言えます。見事に再現された玉虫厨子と、妖しい光が魅力の玉虫の工芸品をご鑑賞いただきたく存じます。また、その他に林原美術館所蔵の蒔絵の数々を合わせて展覧し、御覧いただきたく存じます。

特別企画展

◆林原美術館開館45周年 池田光政生誕400年記念
「池田光政」

11月22日(日)～平成22年1月31日(日)

実質的な初代岡山藩主池田光政(一六〇九～一六八二)は、岡山藩の基礎を築いた名君として知られています。今年が光政生誕400年にあたることを記念し、特別企画展を開催します。

光政は日本における陽明学の祖である中江藤樹(一六〇八～一六四八)の学風を慕い、藤樹の弟子だった熊沢蕃山(一六一九～一六九一)によつて儒学に開眼すると、全国に先駆けて藩校と閑谷学校を創設し、藩士や領民の教育にも情熱をもつてあたりました。備前国の領国経営が、水害の発生により危機に瀕した際に、藩山に命じてとらせた対応も、当時の諸大名の間で評判になっています。

これまで自筆の日記や半生を記した「自歴覚」は知られてきましたが、当館にはこれら以外にも自筆の書が大量に所蔵されており、光政の思想を知る手がかりになります。また、所用の道具の数々も一堂に展示します。本展では、既に多くを語られた光政の、さらなる素顔に迫ります。



池田光政画像(「池田家歴代画像「縛武像」のうち)

左近衛權少將源朝臣
光政公乃利隆嫡男

企画展

◆林原美術館開館45周年記念
第26回全国都市緑化おかやまアーティスト協賛事業

「春爛漫・江戸の絵ごころ」

4月3日(金)～5月24日(日)

四季の中でも長い冬をこえて迎える春は、ひときわ華やかなものです。特に桜や梅は、我々日本人の心をとらえ、絵画にも多く描かれてきました。当館所蔵の近世に描かれた絵画や工芸品の中から、春が主題になっている作品を中心に展示します。

◆林原美術館開館45周年記念

「躍動と静謐の美—林原美術館蔵やきもの名品—」

6月2日(火)～7月26日(日)

林原美術館の陶磁器コレクションの中から、中国・朝鮮・日本のえりすぐりの名品を御覧いただきたく存じます。古くは中国漢代の灰陶はじめり、朝鮮青磁や日本の備前焼など、東洋陶磁のコレクションの優品の数々を展覧いたします。

◆林原美術館開館45周年記念
「平家物語絵巻のすべて」

8月9日(日)～9月27日(日)

当館では日本で唯一完本として揃っている『平家物語絵巻』(全36巻、越前松平家伝来)を所蔵しています。本展では会期を前期・後期に分け、『平家物語絵巻』を全巻ご覧いただけます。



平家物語絵巻 卷八中 「瀬尾最期の事」



明器 緑釉犬



四季遊宴図屏風(部分)

イベント

お花見・お月見・お茶会のご案内

◆お花見会「お花見野点と館長熊倉功夫を囲む会」

昨年に引き続き桜の花を愛でながら、熊倉館長の日本文化や食文化に関する講話と、野点による薄茶・点心をお楽しみいただきます。

お茶席は、裏千家の数田宗枝先生が担当されます。

日 時 4月2日(木)
参 加 費 友の会会員4,200円 一般4,700円 (弁当代含む)

※申し訳ございませんが、申込受付は終了いたしました。

◆お月見と音楽鑑賞

今年は、作陽大学の生徒さんを中心に、琴をはじめとした和楽器の演奏と、熊倉館長のトークをお楽しみいただきます。展覧中の「平家物語」の世界に心を馳せながら、心豊かなひと時をお過ごしいただければと思います。

日 時 10月3日(土)
参 加 費 友の会会員2,700円 一般3,000円

◆秋のお茶会「林原美術館竹明庵茶会」

「竹明庵」におけるお茶会も会を重ね、「林原美術館のお茶会」として定着してきました。今年も、熊倉館長が亭主を、数田宗枝先生がお水屋を勤め、2日間に亘ってお茶を楽しんでいただきます。熊倉館長のしつらいによるお茶席で馥郁と香る一服のお茶と侘び寂びの世界をご堪能ください。

日 時 11月21(土)・22日(日)
参 加 費 友の会会員1,500円 一般1,800円

ワークショッブ
「陶芸教室」
「子供から大人まで
楽しめる陶芸教室」

藤原敬介先生による備前焼(緋櫻)陶芸教室を開催します。小学生とお母さんがともにチャレンジするも良し、私だけのお皿づくりに熱中していただくのも大歓迎です。手びねりでお皿やパンたて、花入れ、湯飲み、ぐい飲みなどを製作します。

日 時 7月25日(土)
講 師 陶芸家 藤原敬介氏

場 所 林原美術館ロビー
定 員 20名(要予約)
参 加 費 4,000円

◆漆箸製作
「備中漆でmy箸。
myスプーンを作ろう」

備中漆の復興に携わっている小野忠司氏を講師に招き、漆塗りの現場や日本の漆の現状等のお話を交えながら、my箸・myスプーン作りを通して備中漆復興への理解を深めていただきます。箸・スプーンの削り作業は参加者が行い、実際の漆塗り作業は、小野氏にていただきます。

日 時 平成22年2月20日(土)
講 師 小野忠司氏
場 所 林原美術館ロビー
定 員 20名(要予約)
参 加 費 2,000円

特別講演会

特別展「三井記念美術館 茶の湯の名品—利休の道具と国宝志野茶碗卯花壇—」記念講演

日 時	10月10日(土) 13時30分～15時
演 題	「三井コレクションと茶陶」(仮題)
講 師	熊倉功夫(林原美術館館長)
会 場	岡山県立図書館 2F 多目的ホール(予定)
参 加 費	友の会会員 1,000円 一般 1,200円
定 員	100名(要予約)

特別企画展「池田光政」記念講演

日 時	12月12日(土) 13時30分～15時
演 題	「池田光政」(仮題)
講 師	倉地克直氏(岡山大学文学部教授)
会 場	岡山県立図書館 2F 多目的ホール(予定)
参 加 費	友の会会員 1,000円 一般 1,200円
定 員	100名(要予約)

美術館巡り

“美術館が推薦する展覧を楽しみたい”とのお声が多く寄せられ、今年は松江市の田部美術館を訪れます。松平不昧公の愛蔵品をはじめとする茶道具や書・花入・茶杓など公自らの作品をご覧いただきます。

日 時	9月12日(土)
参 加 費	友の会会員10,000円 一般11,000円
定 員	40名(要予約)

文化ゾーンを巡る旅

京都茶室巡り

ご好評にお応えし、今回も京都の名園と茶室を巡ります。茶道に造詣の深い熊倉館長のお話は、茶室の建造に纏わる歴史的背景や道具のしつらいにおいて、正にその場で茶の湯が点てられている臨場感が伝わります。お屋は京料理を堪能し、日本の歴史と伝統文化にふれる旅をお楽しみいただきます。

日 時	5月16日(土) 京都センチュリーホテル集合予定
参 加 費	友の会会員10,000円 一般11,000円
定 員	25名(要予約)

「友の会」募集のご案内

当館では友の会会員を募集しています。各展覧会の入場料が企画展は無料、特別展は割引(会員並びに同伴者一名)となります。展覧会の案内状、「林原美術館NEWS」(年2回発行)、その他イベント情報などを随時ご案内いたします。更に、友の会会員の皆様には事前に一枚ずつスタンプカードをお配りし、平成21年度の全展覧会を鑑賞下さった方に感謝の意味を込めて、林原グループのオリジナルグッズをプレゼントさせて頂きます。ご入会の申込み及び詳細は、当美術館までお問い合わせください。

会員の種類・年会費

個人会員

1年	3,000円(新規)	2,700円(入会継続)
3年	7,000円	
法人会員		

1年	30,000円(新規)	27,000円(入会継続)
3年	70,000円	
3年会員		

1年会員	平成21年4月1日～平成22年3月31日
3年会員	平成21年4月1日～平成24年3月31日
有効期限	

美術館講座

今春3号目が発刊された当館紀要の掲載論文について、熊倉館長と当館学芸員が分かりやすくお話しします。

紀要発表会

日 時	6月20日(土) 13時30分～15時30分
演 題	「紀要3号発刊によせて」(仮称)
講 師	熊倉功夫(林原美術館館長)、他当館学芸員
会 場	岡山県立図書館 2F デジタル情報シアター
参 加 費	無料
定 員	80名(要予約)

編集後記

今年は林原美術館開館45周年という、記念すべき年を迎えます。展覧会・イベントとともに、45周年にふさわしく様々な趣向のものを作りすぐつて開催する予定です。皆様の来館をお待ちしております。(浅利)



TEL 086-223-1715
FAX 086-226-1308
財団法人 林原美術館

〒700-0823

岡山市丸の内二丁目一五
参加費 無料
定員 80名(要予約)

